

# 平成29年度 山口県看護協会通常総会 開催にあたって

公益社団法人山口県看護協会

会長 吉 村 喜代子

平成29年度公益社団法人山口県看護協会通常総会を開催できますことは、会員の皆様方の多大なるご支援・ご尽力によるものと、深く感謝申し上げます。

2011年に山口県看護協会長に就任し、3期6年の任期を終えることができますことは、会員の皆様を始め関係機関の方々のご支援・ご協力と深く感謝致します。

さて今我国は、団塊の世代が後期高齢者となる2025年を見据え、世界に類を見ない超高齢化社会の到来に向けフロントランナーとして世界から注目されています。すべての人々が住み慣れた地域で障害や疾病とともに暮らすことや、どのような健康状態でもその人らしく生きていける社会の実現には、看護者として「医療の視点」と、「今までその人が創りあげてきた生活の視点」及び「家族を支える視点」を持ち、人々が主体的にその人らしい生活を営んでいけるよう看護の専門職者としてサポートすることが、この激動の時代に果たすべき看護の役割ではないかと考えます。まさに看護の場の広がりや看護の質が求められる時代であり、今こそ看護の本質を基軸に看護職一人ひとりが「看護の今、看護の未来」を俯瞰し、看護が大きく飛躍するチャンスにつなげる時と考えます。

このように激動する社会情勢を踏まえ、“県民の健康に寄与する”という使命の基、平成29年度の事業方針として4項目を掲げ、取り組みます。

## 1 地域包括ケアにおける看護の機能強化

地域包括ケアシステムの構築や推進を図るため、各職能の活動強化と地域医療ビジョンの具現化をめざし他の医療従事者との連携強化を図る。

## 2 看護職の働き方改革と定着

看護職が生き活きと働き続けられる職場環境改善を支援すると共に、ナースセンター届出制度を活用した就業支援を推進し、看護職の確保定着を図る。

## 3 看護の質の向上とキャリア形成の推進

地域において人々が安全委安心して生活を営むことができるよう、新たな研修体制の構築を図る。

## 4 組織の強化

2025年に向け地域医療構想が策定された今、各医療圏の特性に応じた医療提供を具現化するためには、支部とのさらなる連携を深め、協会の組織強化を図ることが必須である。

これら4つの事業方針を掲げ、県民のニーズに対応するさらに質の高い看護の提供を目指した多くの事業を展開します。

看護は、やりがいのある素晴らしい仕事です。人々が安心・安全な生活を営むことができるよう生命・人生に寄り添い、看護の専門職者として自信と誇りを持ち、さらなる看護の未来を創造していかれることを念願しています。